



AGS株式会社

東証第一部 証券コード3648

2016年3月期 第2四半期決算説明資料

2015年11月

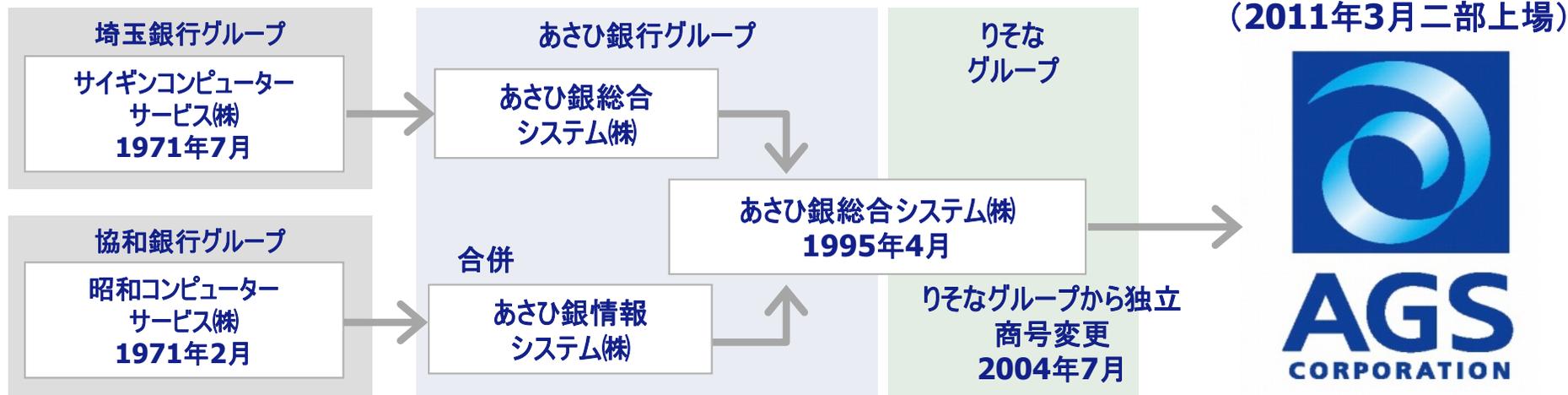
- I . 会社概要
- II . 2016年3月期第2四半期実績
- III . 2016年3月期業績予想
- IV . 下期取り組み
- V . 株式情報

I . 会社概要

1. AGSグループ概要

商号	AGS株式会社	 (本社:AGSビル)	 (さくら浦和ビル)
設立	1971年7月		
資本金	1,398百万円		
従業員数	連結 943名 (2015年9月末時点)		
本社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25		
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 ソフトウェア開発、コンピュータ及びその周辺機器の販売・保守 AGSプロサービス株式会社 コンピュータシステムの運営管理、人材派遣 AGSシステムアドバイザー株式会社 ITコンサルティング、BCMコンサルティング、 情報セキュリティコンサルティング		

2. AGS沿革

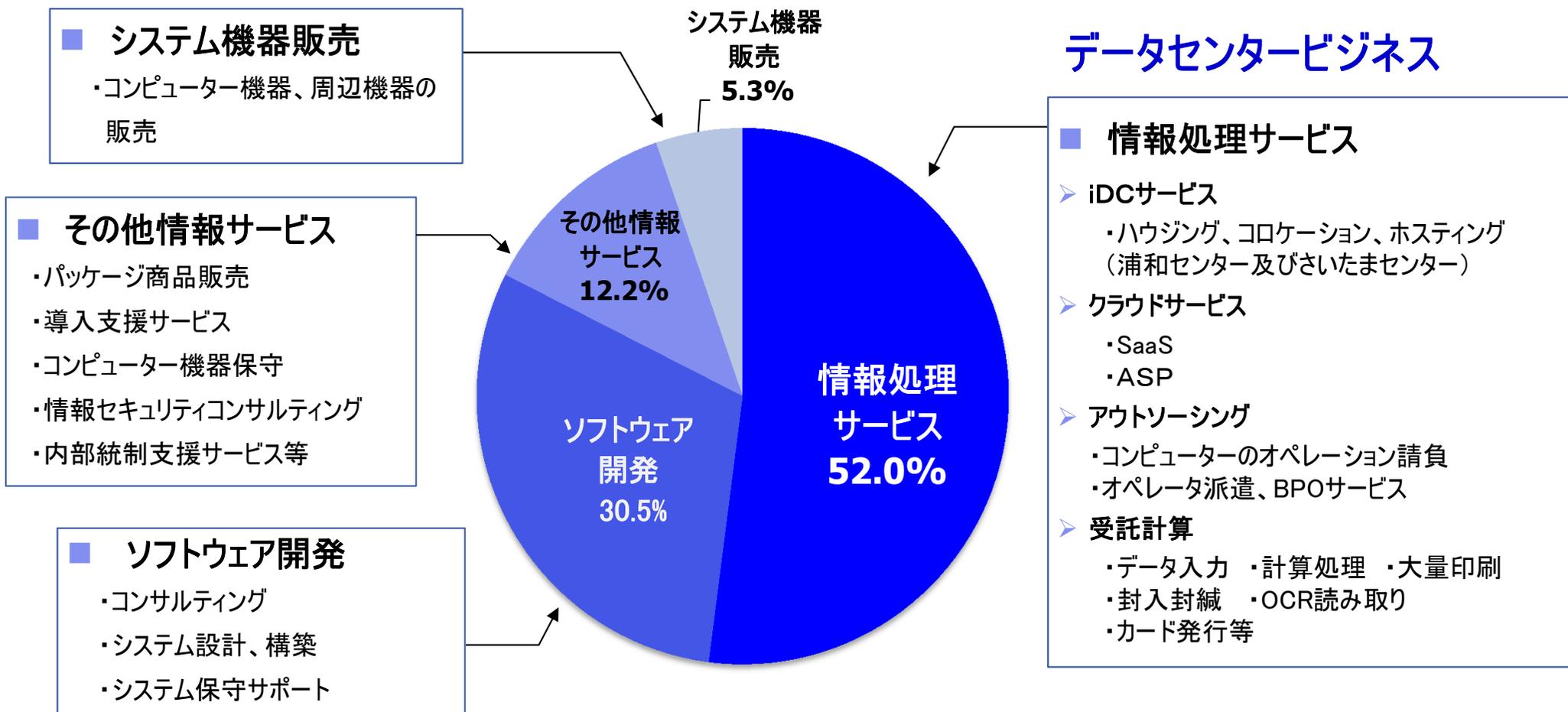


2003年1月	本社内にインターネットデータセンター「さいたまiDC」を開設
2010年2月	浦和ソリューションセンター開設
2011年3月	東京証券取引所市場第二部に上場
2012年3月	インターネットデータセンター「さいたまiDC」新センターを開設
2014年3月	東京証券取引所市場第一部に指定

3. 連結セグメント別売上高構成比

SIビジネス

【 2015年3月期 】



情報処理サービスを中心に総合的なソリューション・サービスをワンストップで展開

4. 連結顧客領域別売上高構成比

サービス領域

データセンタービジネス

- 先進的、本格的なデータセンター設備と高い運用能力
- 長年の経験、ノウハウ、信頼を基盤とした独自性の高い受託計算サービス

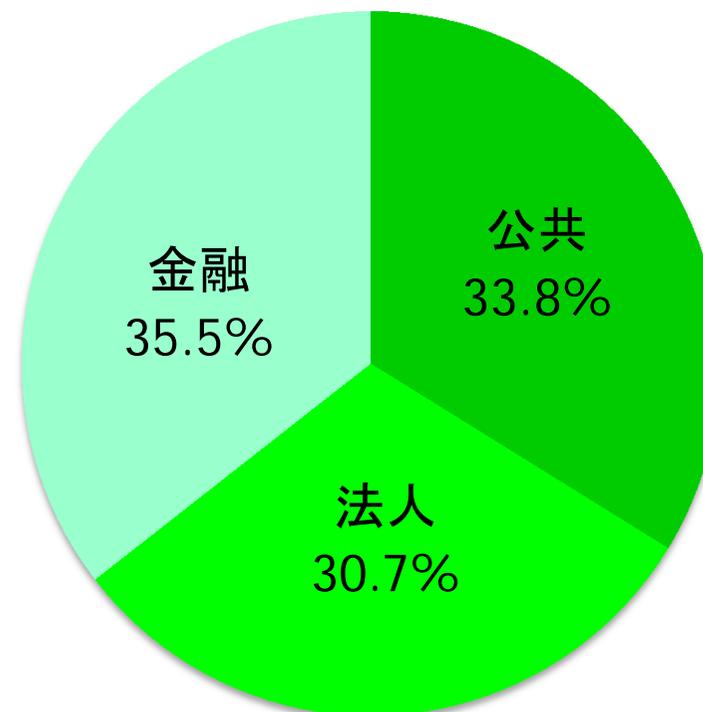


SIビジネス

- 金融、国保、共済、自治体等に関わる専門的な業務ノウハウ
- 高品質なソフトウェア開発能力と顧客志向に基づくきめ細やかなサービス

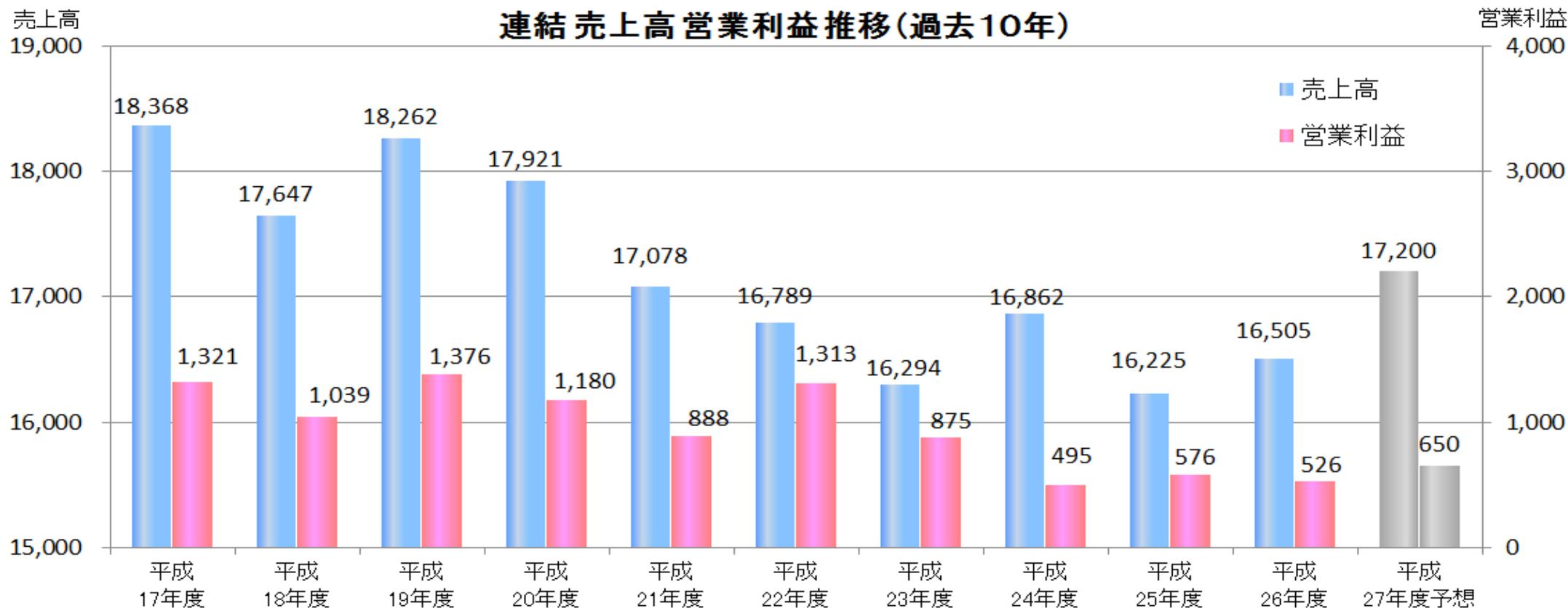


【2015年3月期】



市場環境に柔軟に対応できる
バランスのとれた顧客ポートフォリオを構成

5. 連結売上高 営業利益 推移(過去10年)



(単位:百万円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度予想
売上高	18,368	17,647	18,262	17,921	17,078	16,789	16,294	16,862	16,225	16,505	17,200
1人当たり	-	20.93	21.19	20.27	18.50	17.94	17.43	18.03	17.08	17.39	-
営業利益	1,321	1,039	1,376	1,180	888	1,313	875	495	576	526	650
1人当たり	-	1.23	1.60	1.33	0.96	1.40	0.94	0.53	0.61	0.55	-
社員数	-	843	862	884	923	936	935	935	950	949	-

Ⅱ. 2016年3月期第2四半期実績

1. 2016年3月期第2四半期実績 サマリー

(単位:百万円)

	2015/3期 2Q	2016/3期2Q			前回予想 5/14発表 (ご参考)
	金額	金額	増減	増減率	金額
売上高	7,995	7,946	▲49	▲0.6%	8,000
売上総利益	1,681	1,702	20	1.2%	—
営業利益	248	246	▲1	▲0.6%	150
営業利益率	3.1%	3.1%	0.0P	—	2.5%
経常利益	290	288	▲1	▲0.5%	200
親会社株主に帰属する 四半期純利益	173	173	0	▲0.5%	130
一株当たり四半期純利益(円)	19.58	19.48	▲0.1	▲0.5%	14.63
一株当たり配当金(円)	9.00	10.00	1.00	—	10.00
ROE	1.9%	1.9%	0.0P	—	—
ROA	2.1%	2.1%	0.0P	—	—

- 売上高、利益ともに前年同期並みの水準
- ソフトウェア開発及び情報処理サービスは堅調であったものの、システム機器販売が減少
- 売上高は、概ね前回予想の通りとなる一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、ソフトウェア開発における売上高の増加、および情報処理サービスにおける機械費の減少等により、前回予想を上回る結果

2. 事業セグメント別収益状況

(単位:百万円)

		2015/3期2Q	2016/3期2Q		
		金額	金額	増減	増減率
情報処理サービス	売上高	4,247	4,298	50	1.2%
	セグメント利益	644	568	▲75	▲11.8%
ソフトウェア開発	売上高	2,419	2,490	70	2.9%
	セグメント利益	170	265	94	55.5%
その他情報サービス	売上高	888	850	▲37	▲4.3%
	セグメント利益	51	33	▲17	▲34.5%
システム機器販売	売上高	439	308	▲131	▲29.9%
	セグメント利益	3	16	13	—

- 情報処理サービス 自治体向けアウトソーシング案件の受注増加などにより増収
一方、利益率の低下やOCR機・カード発行機などの大口設備投資に伴う償却費増などにより減益
- ソフトウェア開発 一般法人向けソフトウェア開発案件が増加したことなどにより増収増益
- その他情報サービス 一般法人向け機器導入支援サービスが減少したことなどにより減収減益
- システム機器販売 一般法人向け機器販売が減少したことなどにより減収
一方利益率の改善などにより増益

3. 貸借対照表

(単位:百万円)

		2015/3期末	2016/3期2Q		主要増減要因
		金額	金額	増減	
	流動資産	5,806	5,345	▲460	売掛金の減少
	固定資産	8,966	8,586	▲379	
資産合計		14,772	13,932	▲840	
	流動負債	2,857	2,168	▲689	買掛金の減少
	固定負債	2,638	2,491	▲146	
負債合計		5,496	4,660	▲836	
	株主資本	9,055	9,148	93	
純資産合計		9,276	9,272	▲4	その他有価証券評価差額金減少 剰余金配当
負債純資産合計		14,772	13,932	▲840	
自己資本比率		62.8%	66.6%	3.8P	

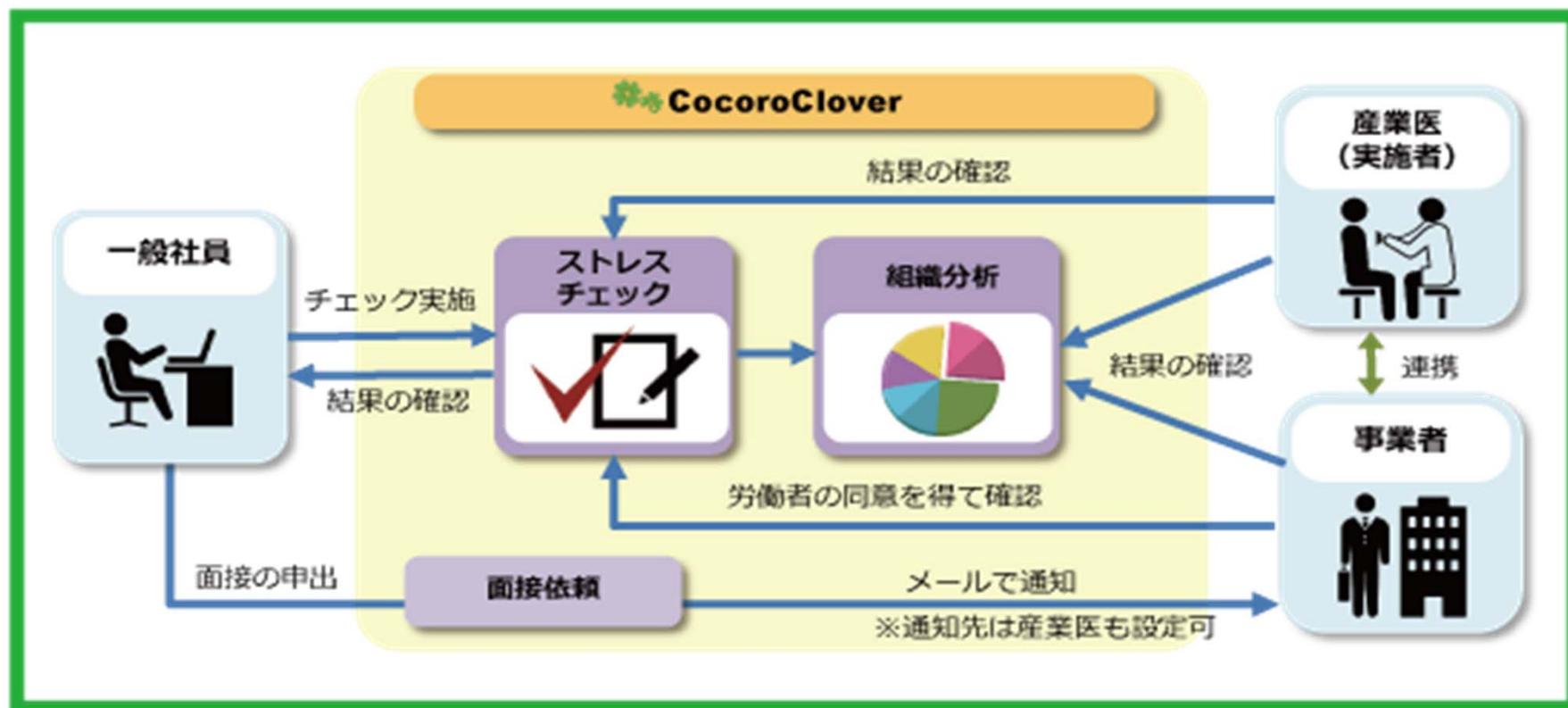
4. キャッシュ・フロー表

(単位:百万円)

	2015/3期2Q	2016/3期2Q	
	金額	金額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,099	606	▲493
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲327	▲421	▲93
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲246	▲250	▲3
現金及び現金同等物の増減額	525	▲65	▲590
現金および現金同等物の四半期残高	2,619	2,631	12

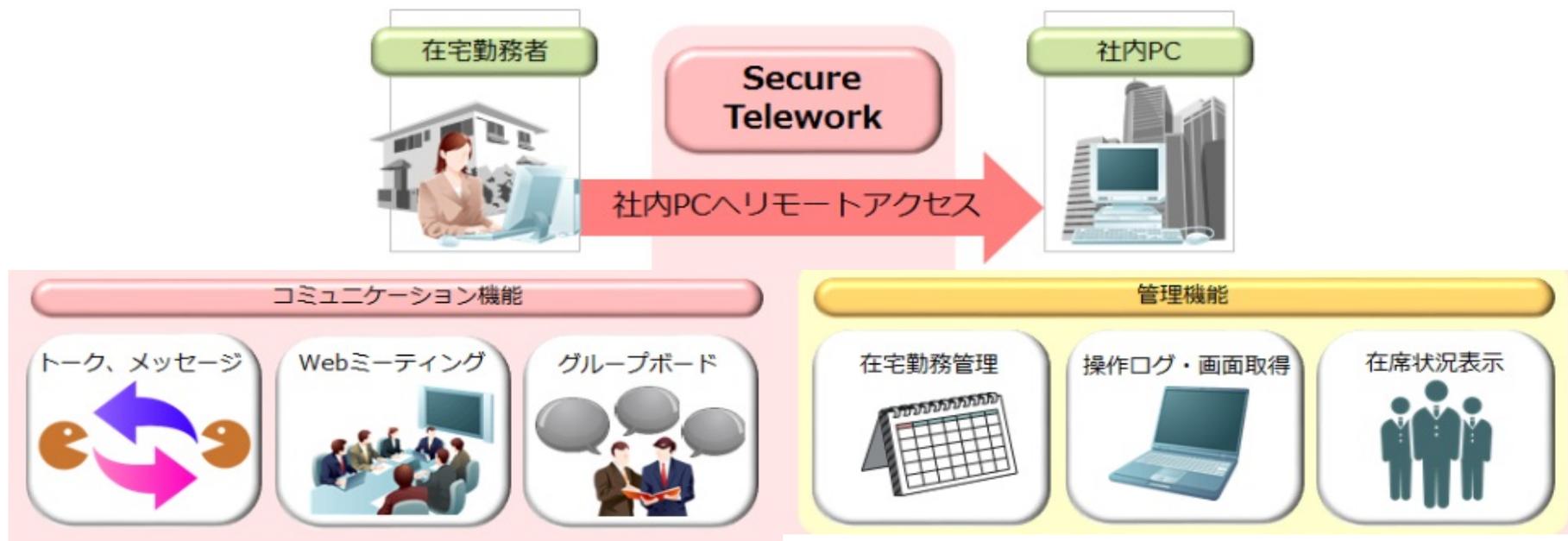
1. ストレスチェックサービス「CocoroClover」提供開始

- 2015年12月より施行されるストレスチェック制度に対応したクラウドサービス
- 従業員のセルフチェックと職場のストレス要因判定が可能
- パソコンやスマートフォンから利用可能、企業に義務化されるストレスチェックの実施を簡単・安心に行うことができる



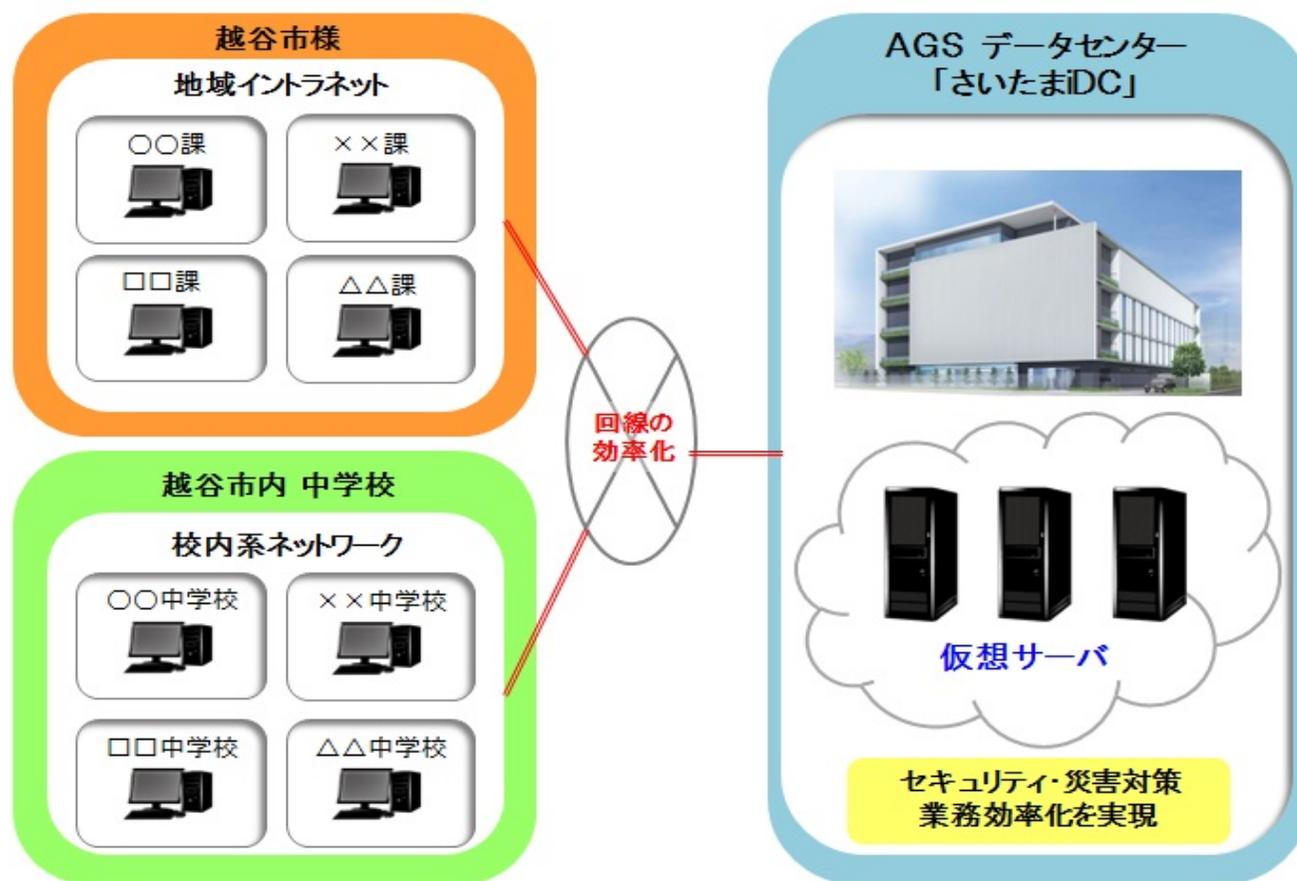
2. 在宅勤務トータルサポートシステム「SecureTelework」提供開始

- 自宅など遠隔地にいながら、オフィスにいるような仕事環境を提供する在宅勤務トータルサポートシステム
- インターネットに接続可能なパソコンさえあれば、簡単な初期設定で利用可能
- 高セキュリティのリモートアクセスサービスを利用し社内パソコンへアクセス
- メッセージやグループボード、Webミーティングといった多彩な機能など充実したコミュニケーション機能
- 操作ログや操作画面を取得し、勤務状況の勤務状況を把握することが可能



3. 越谷市様の情報システムのクラウド化を支援

- 越谷市庁舎内イントラネット、市立中学校ネットワークのサーバをデータセンターに集約
- 越谷市内の中学校全15校に導入されている「校内系ネットワーク」のクラウド化
- 今後、市内の小学校30校の校内系ネットワークのクラウド化を計画中



校内系ネットワーク:
パソコン教室や一般教室で、パソコンを使った授業を行うためのネットワークのこと

4. 埼玉りそな銀行へ「危機対応模擬訓練」の提供

- 連結子会社であるAGSシステムアドバイザー株式会社が、株式会社埼玉りそな銀行の全営業店の部店長を対象とした「危機対応模擬訓練」を実施
- AGSのデータセンター「さいたまiDC」内の「埼玉BCM訓練センター」にて実施
- 全営業店(101ヶ店)の部店長クラス、総勢140名の社員を対象として計4回実施
- 営業店対象のBCM訓練は、銀行界でも稀な同行初の試み

【訓練内容】

- ・リアリティを重視した仮想店舗を想定
- ・災害対応訓練手法(モックディザスターエクササイズ)を採用
- ・平日日中(開店時間帯)の災害発生直後から、本部からの指示がなされるまでの初動対応が主なオーダーメイド型のBCM訓練



埼玉BCM訓練センター



訓練の様様



情報整理

Ⅲ. 2016年3月期業績予想

1. 業績予想サマリー

(単位:百万円)

	2015/3期 実績	2016/3期 予想		
	金額	金額	増減	増減率
売上高	16,505	17,200	694	4.2%
営業利益	526	650	123	23.4%
営業利益率	3.2%	3.8%	0.6P	—
経常利益	571	680	108	19.0%
当期純利益	294	440	145	49.2%
一株当たり当期純利益(円)	33.20	49.53	16.33	—
一株当たり配当金(円)	18.00	20.00	2.00	—

2. 事業セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		2015/3期 実績	2016/3期 予想		
		金額	金額	増 減	増 減 率
情報処理 サービス	売上高	8,589	8,600	10	0.1%
	セグメント利益	1,050	930	▲120	▲11.4%
ソフトウェア 開発	売上高	5,024	5,100	75	1.5%
	セグメント利益	462	590	127	27.6%
その他情報 サービス	売上高	2,019	2,300	280	13.9%
	セグメント利益	165	190	24	14.9%
システム 機器販売	売上高	871	1,200	328	37.6%
	セグメント利益	12	40	27	227.0%

IV. 下期取り組み

10月より企業向けに社会保障と税の共通番号（マイナンバー） 制度関連サービスの提供を開始

■ マイナンバー管理サービス

従業員等の個人番号の「収集」から、高度なセキュリティを誇るデータセンターでの「保管」、法定調書等への記載などの「利用」、退職等により不要となった個人番号の「廃棄」まで、マイナンバー制度に関わる一連の対応を支援するクラウドサービス

■ マイナンバー収集代行サービス

企業に代わって従業員から本人及び扶養家族の個人番号・証憑資料等を受領し、

本人確認を行った上でデータ化するBPOサービス

個人番号を収集するための申告書の印刷・発送、受付・精査、社員番号等と紐付けた

データ化まで、すべて当社のデータセンター内で、ワンストップで実施

来期の長期経営計画ファーストステージ最終年度の目標達成を念頭に、コンサルティング機能を活用した新規顧客の獲得や新たなビジネスの創出、積極的な商談の積み上げにより収益力を高めていく。

データセンタービジネスの強化・拡大	<ul style="list-style-type: none">➤ 新規商談先リストへのアプローチ、アライアンス先深耕➤ 周辺サービスの設備増強(封入封緘、シーリング)の推進➤ 新サービス(PaaS等)の調査、MSPサービス内容見直し
SIビジネスの変革	<ul style="list-style-type: none">➤ セキュリティサービス(マルウェア検知、防御システム)の拡充➤ 先端ITソリューション事例研究会、業種業務別勉強会の継続開催
営業戦略の拡充と実効性の向上	<ul style="list-style-type: none">➤ 監査業務サービスの開始 (システム監査、業務監査などの内部監査・外部監査業務)➤ 顧客向けセミナーの開催(セキュリティセミナー等)

V. 株式情報

1. 株式状況

過去1年間の株価推移

(2015年11月6日現在)



時価総額	8,777百万
配当利回り	2.02%
PER	19.95倍
PBR	0.95倍

(人)

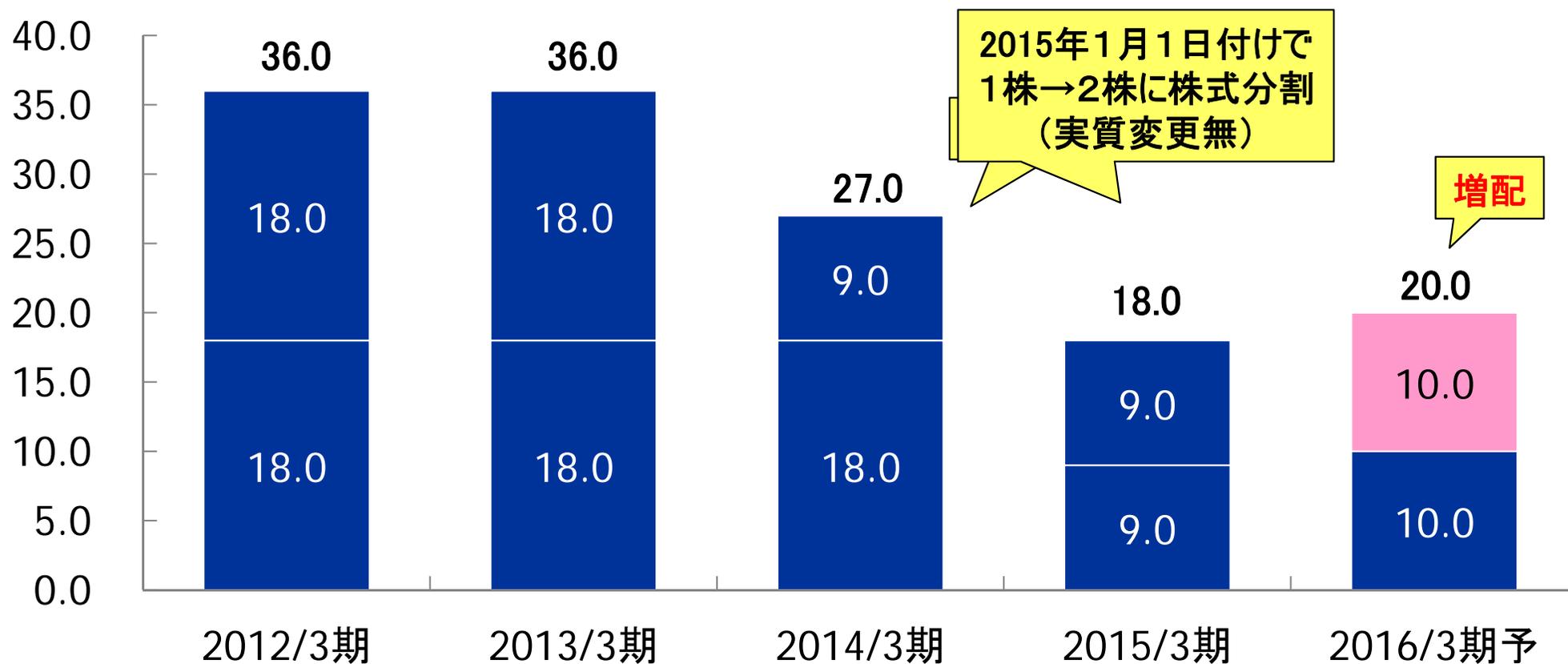
株主数推移



2. 配当政策

株主の皆様への期待に応える利益還元を実現

- 安定した収益に基づいた継続的な配当
- 2016年3月期 上期1円増配実施、通期20円を予定



3. 株主優待内容(VJAギフトカード)一部変更

- 2016年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様への贈呈をもって終了
- 2017年3月31日時点で新たな基準を満たす株主様から、変更後の新制度を適用



変更前	毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株(1单元)以上を保有する株主様
変更後	毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株(1单元)以上を保有する株主様で、 1年以上継続保有する株主様

※1年以上継続保有とは、毎年3月31日および9月30日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して3回以上記載された株主様といたします。

株主名後記載日				優待権利 (VJAギフトカード) 2017年6月頃発送
2015年9月30日現在	2016年3月31日現在	2016年9月30日現在	2017年3月31日現在	
×	×	×	○	なし
×	×	○	○	なし
×	○	○	○	あり
○	○	○	○	あり

○:株主名簿記載あり ×:株主名簿記載なし

厚生労働省 平成27年度 均等・両立推進企業表彰 「ファミリー・フレンドリー企業部門」 埼玉労働局長優良賞 受賞

- 仕事と育児・介護が両立できる様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような他の模範ともいべき取り組みを推進している企業に与えられる
- ITを活用した「テレワーク制度」など、働きながら育児・介護が両立できる制度の充実に対し、その取り組みが高く評価され受賞

ASPIC主催「第9回ASP・SaaS・クラウドアワード2015」受賞

- データセンター部門『ベスト地域貢献賞』
- 運用部門『ASPIC会長特別賞』

※ASP・SaaS・クラウドアワード

総務省などが後援となり、日本国内の優秀かつ社会に有益なサービスを表彰し、クラウド事業者及びユーザーの事業拡大を支援する、特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム(ASPIC)主催のアワード

Assuring **G**rowth and **S**uccess with IT

『ITで、確かな成長と成功を』



本資料は、この資料に記載しております将来に関する事項は、業界の動向、顧客の状況、その他本資料作成時点で当社が入手可能な情報による判断及び仮定により作成しております。従いまして、これらに内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。